

講義コード	11C0117100	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	平 伊佐雄	開講期	第2期
科目名	欧州経済史2					平 伊佐雄		第2期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	ヨーロッパの近世から現代に至る歴史は、世界に大きな影響を与えた。その一つに、工業化社会の展開や資本主義制度の誕生とその普及がある。ヨーロッパ社会で育まれたこれらの仕組みが歴史の中でどのような影響を与えたのか、そして、その現代的な意義を理解することを本講義の目的としたい。								
到達目標	ヨーロッパの近世から現代にかけて生起し、発展してきたヨーロッパの工業化の動きを知り、その現代的な意義を理解できるようにする。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	各回の講義を受講するにあたり、テキストを利用した予習、講義後の復習を各自、授業外学修として4時間（計60時間）行うこと。講義のテキストは、WEB class 上にて配布する。								
授 業 計 画	【第1回】イベリア諸国の事業と商人たち－資金の獲得－ 【第2回】オランダ諸都市の役割－為替手形と金融－ 【第3回】バルト海交易におけるポーランド 【第4回】近世イングランドの経済 【第5回】ブリテン島における工業化への道 【第6回】パークス・ブリタニカの時代 【第7回】プロイセンにおける農村工業 【第8回】プロイセンの輸出産業				【第9回】プロイセン・ドイツの工業化 【第10回】ロシアとヨーロッパ 【第11回】ロシアにおける産業の発展 【第12回】ロシアの工業化 【第13回】フランス王国の政治と経済 【第14回】フランス王国の産業の展開 【第15回】フランス王国の工業化				
成績評価の方法	定期試験と講義期間中のレポートにて評価する。								
フィードバックの内容	レポートについての解題を行う。								
教 科 書	『経済史への招待』カルロ・マリア・チポッラ（国文社）2001、『西洋経済史学』馬場、小野塚編（東京大学出版会）2001、『概説西洋経済史』荒井、竹岡編（有斐閣）1980、『商業史』石坂 他（有斐閣）1980、『経済史講義録－人間・国家・統合－』ピーター・マサイアス（見洋書房）2008								
指 定 図 書	『アントウェルペン国際商業の世界』中澤 勝三（同文館）1993、『近代ヨーロッパの誕生』玉木 俊明（講談社）2009、『イギリス海外貿易の研究』ソウル（文真堂）1980、『ドイツ産業革命』キーゼヴェーター（見洋書房）2006、『ロシアの工業化』フォーカス（日本経済評論社）1985								
参 考 書									
教員からのお知らせ	毎回のテーマについて、基本的な事項を記したテキストをWebClass上に掲載しておくので、予めそれらをダウンロード・印刷して講義に望んでもらいたい。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付けます。また、WebClassのメッセージ機能でも受付けます（利用方法はポータルサイト、ライブラリ内のマニュアルを参照）。								
そ の 他									